



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2730

地区ロータリー財団委員会

補助金管理セミナー プログラム

国際ロータリーテーマ：世界へのプレゼントになろう

2015年8月23日(日)
メインホテル(都城市)
司会：井上 博功(高鍋)

- | | | | |
|---------------|--------------|---------------------|-----------|
| 13:00 | 開会挨拶 | ガバナー | 野中玄雄(延岡東) |
| | 主催者挨拶 | 〃 | 〃 |
| | 研修リーダー挨拶 | パストガバナー | 長峯 基(都城) |
| 13:20~13:30 | 日高勇二(宮崎南) | 年次寄付・恒久基金委員会 | 委員 |
| 13:30~16:30 | 小園弘巳(鹿児島城西) | 補助金・ポリオプラス委員会 | 委員長 |
| < 途中適宜休憩します > | | | |
| 16:30~16:40 | 今村時雄(宮崎北) | 国際奉仕委員会 | 委員長 |
| 16:40~16:50 | 前田正幸(鹿児島S W) | 奨学金・世界平和フェロシップ委員会 | 委員長 |
| 16:50~17:00 | 喜島健一郎(宮崎西) | V T T委員会・ロータリー財団委員会 | 委員長 |
| 17:00 | 閉会 | | |

平成27年(2015年)8月23日(日) 13:00~17:00

地区ロータリー財団「補助金管理セミナー」 出欠名簿①

メインホテル(都城市)

<鹿児島県分区・クラブ>

分区	R C 名	役職	氏名
鹿児島県北部	出水	(地区委員出席)	—
	阿久根(2名)	クラブ管理部門 部門長	江川野 和宏
		クラブ管理部門 副部門長	京田 一則
	川内	(地区委員出席)	—
	薩摩川内	ロータリー財団委員会 委員長	永留 博文
	串木野	会長	錦流馬 祐二
	宮之城	欠席	—
	大口	ロータリー財団委員長	原口 義広
鹿児島県西部	伊集院	ロータリー財団委員長	小平 竜平
	加世田	欠席	—
	枕崎	欠席	—
	頰娃	財団委員長	佐藤 一洋
	指宿	ロータリー財団委員長	今林 重夫
鹿児島県中部	霧島	欠席	—
	園分(2名)	幹事	鈴木 文隆
		事務局	川畑 裕子
	園分中央	ロータリー財団委員長	家村 信弘
	加治木(2名)	会長	新川 義博
		幹事	木本 龍太
	始良	会長	川野 潤一郎
鹿児島県東部	鹿屋	財団委員長	嶋田 芳博
	串良	会長	桃木 昌明
	鹿屋西(2名)	財団委員長	窪田 昌義
		国際奉仕委員長	遠矢 達一
	志布志	国際奉仕	坂田 直喜
	かのや東	ロータリー財団委員長	矢野 常広
	きもつき	ロータリー財団委員長	白川 洋介
	南九州大崎	欠席	—
	志布志みなと	国際奉仕委員長	梶井 敬親
鹿児島県市内	鹿児島	(地区委員出席)	—
	鹿児島南	ロータリー財団担当副委員長	川窪 宏一
	鹿児島西	ロータリー財団委員長	山下 皓三
	鹿児島東南(2名)	副会長	東 則秋
		ロータリー財団委員長	野井倉 洋豪
	鹿児島中央	ロータリー財団委員長	石塚 俊雄
	鹿児島西南	欠席	—
	鹿児島城西	ロータリー財団委員長	和田 卓朗
	鹿児島東	会長	入佐 光二
	鹿児島北	ロータリー財団・米山奨学会委員会 委員長	田口 薫
	鹿児島サザンウインド	ロータリー財団部門リーダー	高岡 茂
鹿児島県奄美	奄美	(地区委員出席)	—
	奄美中央	欠席	—
	奄美瀬戸内	欠席	—
		鹿児島県分区合計	31

<宮崎県分区・クラブ>

分区	R C 名	役職	氏名
宮崎県北部	延岡	財団委員会 委員長	廣末 誠
	延岡東	ロータリー財団委員長	村嶋 輝一郎
	延岡中央(3名)	幹事	川口 哲司
		ロータリー財団委員長	高藤 誠
		奉仕プロジェクト委員長	藤原 荘一郎
	日向	ロータリー財団委員長	安藤 幸市
	日向東	財団委員長	寺原 二三俊
	日向中央(3名)	会長	黒木 幸市
		会長エレクト・幹事	平野 亮二
		国際奉仕委員長	梶原 万次
門川	ロータリー財団委員長	堀 浩二	
宮崎県中部	宮崎	ロータリー財団委員長	田川 勝美
	宮崎西	ロータリー財団委員長	山元 啓司
	宮崎北	国際奉仕委員長	仁田脇 雅之
	宮崎南	ロータリー財団委員長	曾我 保
	宮崎中央	ロータリー財団委員長	鳥山 浩
	宮崎東(2名)	会長	平木 泰英
		ロータリー財団委員長	細木 章稔
	西都(2名)	会長	野間 隆文
		幹事	橋口 博明
	佐土原	財団委員長	郡司 武俊
高鍋	(地区委員出席)	—	
宮崎県西部	えびの	ロータリー財団委員長	迫田 黙太郎
	小林(2名)	会長	高山 博
		財団小委員長	坂下 利博
	小林中央	欠席	—
	都城	ロータリー財団小委員長	迫田 征男
	都城北	ロータリー財団副委員長	南園 哲男
	都城西	ロータリー財団小委員長	高橋 五男
都城中央	会長	塩屋 三智年	
ジャパンカレントEクラブ	会計・ロータリー財団委員	吉永 由香	
宮崎県南部	日南	欠席	—
	日南中央	財団委員長	坂本 哲夫
	串間	財団委員長	河野 清見
		宮崎分区合計	31
		65クラブ合計	62

平成27年(2015年)8月23日(日) 13:00~17:00

地区ロータリー財団「補助金管理セミナー」 出欠名簿②

メインホテル(都城市)

<地区役員・委員>

	R C 名	役職	氏名	出欠
地区役員・委員	延岡東	ガバナー	野中 玄雄	○
	指宿	ガバナーエレクト	大重 勝弘	○
	都城	地区研修リーダー・PDG	長峯 基	○
	延岡東	地区幹事	田島 幹洋	○
	かのや東	拡大・増強部門 部門長	田上 明	○
	鹿児島サザンウインド	クラブ管理部門 部門長	松田 泉	×
	鹿児島東南	奉仕プロジェクト部門 部門長	山田 忠茂	×
	延岡東	米山記念奨学会部門 部門長	達富 脩	○
	延岡	広報・公共イメージ部門 部門長	尾形 栄	○
	都城中央	なでしこ2730委員会 委員長	田村 香代子	○
	出水	フェローシップ委員会 委員長	中熊 良定	○
	鹿屋西	クラブ研修委員会 委員長	古江 矢	×
	鹿児島城西	出席推進委員会 委員長	内倉 厚弘	×
	奄美	職業奉仕委員会 委員長	福永 健一	×
	鹿児島	社会奉仕委員会 委員長	名島 博	○
	加治木	青少年奉仕委員会 委員長	岩澤 浩二	×
	霧島	ライラ委員会 委員長	前田 嘉郎	×
	川内	インターアクト委員会 委員長	川畑 幸則	○
	加治木	ローターアクト委員会 委員長	中間 博英	×
	都城北	青少年交換委員会 委員長	戸高 望	×
	宮崎中央	米山奨学寄付委員会 委員長	田島 直也	×
	宮崎北	米山奨学選考委員会 委員長	長嶺 貴臣	×
	鹿児島中央	米山学友委員会 委員長	榎 茂吉	×
	宮崎西	学友委員会 委員長	金丸 憲史	○
	宮崎北	広報・IT委員会 委員長	安達 龍大	×
	鹿児島サザンウインド	ロータリー雑誌委員会 委員長	小山田 吉治	×
	宮崎西	ロータリー財団部門 部門長	喜島 健一郎	○
	鹿児島城西	補助金・ポリオプラス委員会 委員長	小園 弘巳	○
	高鍋	補助金・ポリオプラス委員会 副委員長	井上 博功	○
	都城中央	補助金・ポリオプラス委員会 委員	藤岡 宏教	○
	鹿児島	補助金・ポリオプラス委員会 委員	山ノ内 文治	○
	国分	VTT委員会 副委員長	米丸 麻希子	×
	延岡	VTT委員会 委員	佐藤 信博	×
	奄美	VTT委員会 委員	久保田 岩洋	○
	鹿児島西	VTT委員会 委員	川畑 宏二	○
	志布志	VTT委員会 委員	西岡 雅博	○
	鹿児島東	年次寄付・恒久基金委員会 委員長	有村 茂樹	×
	宮崎西	年次寄付・恒久基金委員会 副委員長	衛藤 清隆	×
	宮崎南	年次寄付・恒久基金委員会 委員	日高 勇二	○
	鹿児島サザンウインド	奨学金・世界平和フェローシップ委員会 委員長	前田 正幸	○
	鹿児島サザンウインド	奨学金・世界平和フェローシップ委員会 副委員長	中村 聡	○
	延岡東	奨学金・世界平和フェローシップ委員会 委員	柳田 英明	○
延岡東	奨学金・世界平和フェローシップ委員会 委員	佐藤 雄二	○	
宮崎北	国際奉仕委員会 委員長	今村 時雄	○	
鹿児島サザンウインド	国際奉仕委員会 副委員長	井岡 松司	○	
鹿児島南	国際奉仕委員会 委員	萩原 隆志	×	
延岡東	国際奉仕委員会 委員	岡田 明利	×	
		地区役員合計	27	
		総合計(各クラブ+地区役員・委員)	89	

【基本方針】

- ◆地区補助金を大胆に活用しましょう
クラブプロジェクトを通して
 - ①クラブの活性化⇒会員の活性化
 - ②地域社会との連携⇒会員の存在意識
 - ③公共イメージの向上⇒会員のprestige
 - ④会員増強⇒会員の成長
- ◆年次寄付・恒久基金への意識を高め、丁寧な啓発活動を行いましょう

【2015-2016 年度目標】

- ◆寄付金 0 クラブ解消
- ◆年次寄付 1 人 150 \$
- ◆年次寄付前年度実績維持
- ◆ペネファクター各クラブ 2 名
- ◆ポールハリス・ソサエティ地区内 3 名
↳ 1000ドル以上を寄付する人

【目標達成のための方策】

- ◆財団への寄付意識を高める啓発活動
- ◆例会時の寄付受付を推進する
- ◆例会時、クラブ財団委員会の積極活動
- ◆月間実績報告の慣例化
- ◆目標達成のための積立方式等推奨する
- ◆地区補助金活用を促す
 - ・人道的プロジェクト
 - ・奨学金
 - ・専門職を持つ人からなる職業研修チーム (VTT) の派遣

【2014 年～2015 年度の実績】

- *年次寄付は地区で\$235,257 (約¥29,171,868) 1 人当たり\$102
- *年次寄付 0 クラブ 65 クラブ中 3 クラブ
- *すべての寄付 (年次、その他、恒久基金) 0 クラブ 65 クラブ中 1 クラブ

補助金管理 セミナー

第2730地区



2014

研修目的

- ローター財団補助金の管理
- 財団資金の管理に関する期待事項
- 覚書を実行するためにクラブが準備すべきこと
- 参加資格認定のための要件

Rotary

2014

ロータリー補助金の概要

- 従来の補助金よりもクラブや地区に裁量権が与えられている
- 3種類に絞られている: グローバル補助金、地区補助金、パッケージ・グラント
- 委員会構成が簡素化されている
- DDFの配分と奨学金の提供が柔軟に行える
- 職業研修チームを支援できる

Rotary

2014

補助金管理とは

補助金プロジェクトにおいて以下を達成する。

- 適切な財務管理を行う
- 財務基準に従う
- プロジェクト受益者のニーズを満たす
- 受益者の目標を達成する
- 資金を保護する

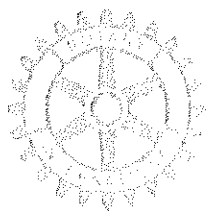


Rotary

2014

セッション1

プロジェクトの立案



2014

研修目的

- プロジェクト立案の効果的な方法やコツを学ぶ
- プロジェクトの実施計画を立てる方法を学ぶ
- 測定可能な目標の立て方を理解する

Rotary

2014

補助金プロジェクトにおける成功とは

- 地域社会のニーズに応える
- 持続可能である
- 専門家と協力する
- 実施計画がある
- 適切な資金管理が行われている




Rotary 

2014

地域社会のニーズ調査

- 地域のニーズを基にしたプロジェクトを行う
- クラブと協力団体が持つリソースを確認する
- 地域社会の声を聞く




Rotary 

2014

パートナーシップ

- ロータリー国際大会
- プロジェクト展示会
- リンクトイン
- フェイスブック
- ロータリーの会合・行事
- www.matchinggrants.org/global
- www.rotary.org




Rotary 

2014

プロジェクトの計画

- 3名から成る補助金委員会を結成する
- 各メンバーに役割を割り当てる
- 実施計画を立てる
- 予算を立てる
- 不測の事態に備え危機管理計画を立てる
- 書類の保管システムをつくる

Rotary 

2014

予算の編成

- 現実的な予算を組む
- 複数の見積もりを比較する
- 妥当な価格を支払う
- 利害関係の対立 (またはその潜在性) を開示する

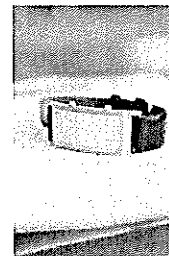


Rotary

2014

目標の設定

- 測定可能な目標を立てる
- 持続可能な成果を目標に盛り込む
- 質に関する目標を立てる
- 数値目標を立てる
- 基準となるデータを収集する
- 測定方法を定める




Rotary

2014

研修目的の再確認

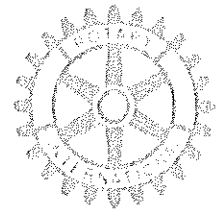
- プロジェクト立案の効果的な方法やコツを学ぶ
- プロジェクトの実施計画を立てる方法を学ぶ
- 測定可能な目標の立て方を理解する

Rotary 

2014

セッション2

申請とプロジェクトの実施






©2014

研修目的

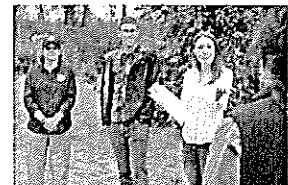
- 承認される申請書を作成できる
- 補助金プロジェクトの資金調達仕組みを理解する
- 評価の重要性について説明する


Rotary 

2014

ロータリー補助金

- 地区補助金
- グローバル補助金
- パッケージ・グラント



Rotary 

2014







グローバル補助金の申請

- オンラインでの申請
- 重点分野の目標を支えるプロジェクト
- 持続可能な影響を与えるプロジェクト
- 異なる国にある二つの提唱者(クラブ/地区)が関与
- 予算総額は最低30,000米ドル
- クラブに参加資格があることを地区が確認

Rotary

2014

重点分野

-  平和と紛争予防/紛争解決
-  疾病予防と治療
-  水と衛生
-  母子の健康
-  基本的教育と識字率向上
-  経済と地域社会の発展

Rotary

2014

持続可能なプロジェクト

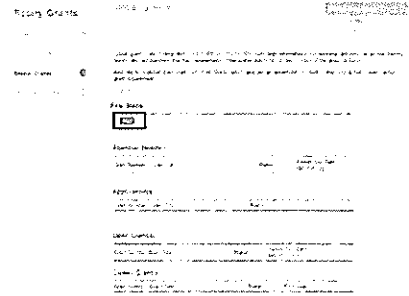
補助金資金がすべて使用された後にも、地域社会の継続的ニーズを満たすために、プロジェクトがもたらした影響を長期的に持続できるもの



Rotary

2014

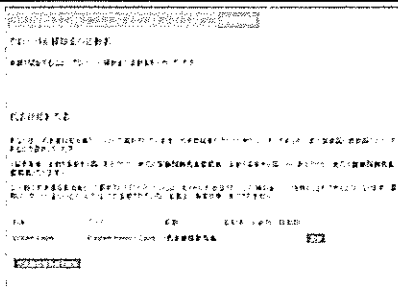
グローバル補助金 最初のステップ



Rotary

2014

申請



Rotary

2014

グローバル補助金の資金調達

- グローバル補助金プロジェクトの最低予算は30,000米ドル
- DDFの拠出にはWFから100%のマッチング
- 現金の寄付・拠出(ロータリアン/ロータリアン以外からにかかわらず)にはWFから50%のマッチング

Rotary

2014

資金源のガイドライン

- 全提唱者からの資金の最低30%を援助国側提唱者が提供する
- 補助金プロジェクトを行うのと引き換えに、受益者や協力団体から資金を受け取らない
- 別の補助金プロジェクトのために寄付された資金を使用しない
- 個人による寄付は、必ずその個人の名義とする

Rotary

2014

利害の対立

- 補助金に関与しているロータリアンが、財務上またはそれ以外の恩恵を受ける(または受ける可能性がある)こと
- 恩恵は、ロータリアン自身が受ける場合と、そのロータリアンの親族、友人、知り合いのロータリアン、知人、同僚、共同経営者などが受ける場合を含む




Rotary

2014

補助金プロジェクトの実施

- コミュニケーション
- 財務管理計画
- 詳細な記録
- 承認済みの計画を守る




Rotary 

2014

補助金プロジェクトの評価

- 報告要件を満たすのに役立つ
- 将来の補助金計画の参考とする
- 目標に照らす
- 継続的に行う
- 成果を確認する




Rotary 

2014

研修目的の再確認

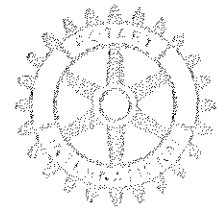
- 承認される申請書を作成できる
- 補助金プロジェクトの資金調達仕組みを理解する
- 評価の重要性について説明する

Rotary 

2014

セッション3

補助金の管理と報告



2014

研修目的

- 財務管理と記録保持のベストプラクティス(最善の方法)を学ぶ
- 保管すべき書類は何かを理解する
- 報告要件を理解する

Rotary

2014

資金管理

「補助金管理」とは、以下を含む、補助金資金の責任ある管理を意味します。

- 不正が見受けられたら報告する
- ロータリアンが資金を管理する
- 財務記録を確認する
- 資金の動きを監視する
- 期日までに報告を行う

Rotary

2014

財務管理計画

- 補助金資金専用の銀行口座
- 資金の支出
- 取引記録が残る方法での支払い
- 詳細な記録の維持
- [国、または地方自治体の法律・法令]

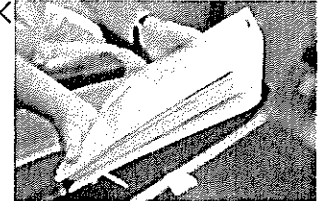


Rotary

2014

書類の保管

- 書類を閲覧しやすいようにすることで補助金管理の透明性を保つ
- 少なくとも5年間保管する
- コピーをとっておく



Rotary

2014

報告要件

報告の目的:

- 補助金資金が適切に管理されていることを確認する
- クラブ、協同提唱者、ロータリーに貴重なデータを提供する



Rotary

2014

地区補助金の報告要件

- [地区における地区補助金の報告要件を挿入]



Rotary

2014

グローバル補助金の報告

報告の期限

- 最初の中間報告書は補助金の支払いから12カ月後
- その後はプロジェクト終了まで12カ月ごと
- 最終報告書はプロジェクト終了後2カ月以内



Rotary

2014

グローバル補助金の報告

グローバル補助金の報告書に記載する情報:


- 双方の提唱者がどのように関与したか
- 補助金活動の種類
- プロジェクト目標の達成状況
- 重点分野にどのように取り組んだか
- 補助金の使途
- 受益者の数、どのような恩恵があったか

Rotary

2014

研修目的

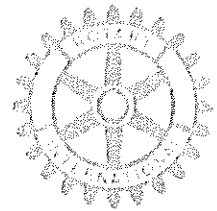
- 財務管理と記録保持のベストプラクティス（最善の方法）を学ぶ
- 保管すべき書類は何かを理解する
- 報告要件を理解する

Rotary 

2014

セッション4


参加資格の認定



2014

研修目的

- 参加資格要件を理解する
- クラブ参加資格の認定手続きと資格維持について理解する


Rotary 

2014

参加資格認定の要件

- 補助金管理セミナーに出席する
- 覚書(MOU)に同意する
- [地区が追加の要件を定めた場合は挿入]



Rotary 

2014

参加資格認定の条件

- 有効期間は1ロータリー年度
- 利害の対立を開示する
- 監査に協力する
- 補助金資金を適切に使う
- クラブの覚書(MOU)を実施する

Rotary

2014

参加資格の維持


- クラブの覚書(MOU)を実施する
- 参加資格認定状況を管理するクラブ会員を任命する
- 補助金管理を徹底し、資金の不正使用を防ぐ

Rotary

2014


研修目的の再確認

- 参加資格要件を理解する
- クラブ参加資格の認定手続きと資格維持について理解する

Rotary 

2014

ご参加ありがとうございました

Rotary 

2014

3. 申請を行う地区内のロータリー・クラブ

クラブ _____ 会長 _____

プロジェクトの連絡先 他のロータリー年度に継続する場合を含め、プロジェクトの実施期間を通じてプロジェクト資金の監督と管理を行うロータリアンを2名挙げてください（必須）

プロジェクトの代表連絡先

追加の連絡先

氏名 _____

氏名 _____

ロータリーにおける役職 _____

ロータリーにおける役職 _____

電子メール _____

電子メール _____

郵便番号 _____

郵便番号 _____

住所 _____

住所 _____

電話 自宅 _____

電話 自宅 _____

職場 _____

職場 _____

Fax _____

Fax _____

4. プロジェクト予算

プロジェクト全体の完全な予算内訳を提供して下さい。必要に応じて別紙をお使い下さい。各項目については、業者からの見積もりや費用に関するその他の文書を添付する必要があります。

業者の見積もりを添付しました。

総額 _____

5. 機器や材料の購入

1. 機器や材料は誰が所有することになりますか？（ロータリー・クラブまたはロータリアンが所有することはできません。）

2. 機器や材料のメンテナンス、作動、保管にかかる費用は誰が負担しますか？。

3. （国際プロジェクトの場合）機器や材料を輸送する場合は、通関手続きの手配をしましたか？。

6.資金調達案

すべての資金源を列挙し、現金と申請する地区補助金の額を示して下さい。

代表提唱ロータリー・クラブ	_____	寄付額	_____
その他のロータリークラブ	_____	寄付額	_____
その他のロータリークラブ	_____	寄付額	_____
その他のロータリークラブ	_____	寄付額	_____
地 区	_____	寄付額	_____
他の資金源からの追加資金	_____	寄付額	_____
	小 計		_____
	地区補助金申請額		_____
	総 額		_____

7.広 報

これがロータリー提唱プログラムであることを、一般社会にどのように知らせますか。詳しく説明して下さい。（新聞広告、ロータリーの輪の表示など）

8.報 告

提唱クラブは中間報告と最終報告を地区補助金委員会に提出することが義務付けられています。これらの報告書の提出の代表責任者を以下にあげてください。

氏 名 _____ 署 名 _____

クラブ名 _____

9.ロータリアンの積極的参加と権限付与

提唱者による承認

このプロジェクトに関与するすべてのロータリー・クラブと地区は、プロジェクトの実施と報告について、第2730地区ロータリー財団委員会、補助金委員会に対して責任があり、究極的に国際ロータリーのロータリー財団に対して責任があります。このページの末尾の署名は、提唱者がプロジェクトの責任を理解し、それを受け入れることを確認するものであります。

このプロジェクトへのロータリアンの積極的関与を実証するクラブの活動を以下に列挙して下さい。

以下に署名することにより、私たちは次の内容に同意します。

*この申請書に含まれる情報は、私たちが知る限りすべて事実であり、正確である。

*本申請は地区補助金の「受給資格と指針」に述べられている地区補助金受給資格をすべて満たしている。

*クラブはクラブの活動として、このプロジェクトを実施することに同意した。

*地区補助金の「受給資格と指針」に述べられている報告要件とロータリアンの活動についての要件を、私たちは理解し、これに従う。

*プロジェクトの完了に6 か月以上かかる場合は、補助金支給日から6 か月毎に中間報告書を提出し、プロジェクト完了から2 か月以内に最終報告書を提出することに同意する。

クラブ会長（氏名） _____ 署名 _____

クラブ _____ 日付 _____

10. クラブ資金の承認

このプロジェクトへのクラブ資金の使用についての承認を以下に記入して下さい。資金を拠出するすべてのクラブの会長がこの承認に署名しなければなりません。（本紙の複写を作成することができます）

クラブ会長（氏名） _____ 署名 _____

クラブ _____ 日付 _____

承認額 _____

11. 記入チェックリスト

地区補助金申請書を提出する前に、このチェックリストですべての要求事項が満たされていることを確認してください。質問や懸念がある場合は、地区補助金小委員会委員長に連絡して下さい。

- プロジェクトは地区補助金受給資格をすべて満たしていますか。
- 提唱クラブはプロジェクトを監督する2名の人物を連絡先として任命しましたか。これらの人物が申請書に正確に記入されていますか。
- 資金申請の年にクラブ会長を務める人物からの書面による資金提供の確認がありますか。
- プロジェクト提唱者の責任が説明されていますか。その責任は、地区補助金プロジェクトの要件を満たしますか。
- プロジェクト提唱者からの署名（第9項）がありますか。
- 各項目について業者の費用見積が添えられていますか。
- 協力団体が関与しますか。その場合は、その団体がどのように協力し、また、ロータリアンがどのように参加協力するかを具体的に述べる同団体からの書簡が添えられていますか。
- プロジェクトの広報計画を詳しく説明していますか。
- 地区補助金小委員会への提出に先立ち、控えとしてすべての書類のコピーをとりましたか。

備考：地区補助金小委員会は、できるだけ早くクラブの申請書を審査するよう努めます。漏れなく記入した申請書とすべての添付文書を以下にお届けください。

個別プロジェクト報告書

本書式に漏れなく記入の上、地区ロータリー財団委員長にご返送ください(直接ロータリー財団に送らないでください)。

ロータリー・クラブ: _____

プロジェクト名: _____

中間報告書 最終報告書

プロジェクトの概要

1. このプロジェクトで何が、いつ、どこで実施されたかを簡潔に説明してください。これが中間報告書である場合には、今後実行すべき活動内容も説明してください。
2. このプロジェクトの恩恵を受けた人々の数はどのぐらいですか。 _____
3. プロジェクトの受益者は誰ですか、またどのような恩恵を受けましたか。プロジェクトはどのような人道的ニーズに応えましたか。
4. このプロジェクトに何名のロータリアンが参加しましたか。 _____
5. これらのロータリアンは何を行いましたか。プロジェクトへの財政的支援を除き、その具体例を少なくとも2つ挙げてください。
6. 協力団体が関与している場合、その団体の役割は何でしたか。

財務報告(地区はすべての支出の領収書を少なくとも5年間保管しなければなりません)

使用通貨 _____ 為替レート _____ = 1 米ドル

7. 収入

収入源	通貨	金額
1. 地区から受領した地区補助金の資金		
2. その他の資金(具体的に記入)		
3. _____		
プロジェクトのための収入合計額		

8. 支出(具体的にお書きください。必要に応じて行を追加してください。)

予算項目	業者名	通貨	金額
1. _____			
2. _____			
3. _____			
4. _____			
5. _____			
プロジェクト支出合計額			

証明の署名

本報告書に署名することで、私の知る限りにおいて、地区補助金の資金が管理委員会の指針に準拠し認められた項目にのみ使用され、ここに記されたすべての情報が事実であり、かつ正確であることを認めます。補助金資金のすべての支出の領収書を、地区に提出しました。また、私は、本報告書に関連して提出した写真はすべて、RIの所有物となり、返送されないことも理解しています。私は著作権を含めこの写真のすべての権利を所有することを認め、時と場所を問わず、いかなる方法、また現在知られている媒体または後に作成される媒体において、使用料なしで写真を使用する取消不能な許可をRIとロータリー財団に与えます。これには、必要であれば、RIの独自の裁量により写真に修正を加える権利が含まれます。また、RIおよびロータリー財団が、ウェブサイト、雑誌、冊子、パンフレット、展示、その他の推進資料において写真を制限なく使用できる権利も含まれます。

証明の署名 _____ 日付 _____
 氏名、ロータリーの役職、ロータリー・クラブ名 _____

この欄は地区ロータリー財団委員長がご記入ください。

地区補助金番号 _____ 個別プロジェクト報告書番号 _____

補助金の全般的基準と条件

- ロータリー財団の使命を守る
- ロータリアンの直接参加
- 補助金を律する条件の遵守
(他国の法令を守り個人・団体を傷つけない)
- 承認した活動のみに使用、完了または開始済みのプロジェクトには使えない
- Rotary マークを使う

地区補助金（申請可）

- 人道的プロジェクト
- 環境保全プロジェクト
- 教育的プロジェクト（当地区では主にグローバル補助金にて対応）
- インターアクト、ローターアクトによる奉仕プロジェクト
- 橋、太陽光パネル、道路、電力供給網などを含む建設（海外等）
- RYLA の登録費
- 青少年交換プログラム
(例)
 - ・障害児に対する水泳指導員育成
 - ・車椅子バスケットボール大会
 - ・障害者によるコンサート
 - ・障害施設へ AED
 - ・希少な桜の植栽
 - ・児童虐待をなくそうキャンペーン

地区補助金に使えないもの（申請不可）

- 健常者だけのスポーツ大会
- 募金活動
- クラブの記念事業
- 文化振興
- 街おこし
- スタッフの飲食費　ロータリアンが直接的・間接的に利益を得る事は不可



国際ロータリー第2730地区
ロータリー財団部門

国際奉仕委員会

平成27年8月23日

構成メンバー

今村 時雄(宮崎北)



井岡 松司(鹿児島SW)



萩原 隆志(鹿児島南)



岡田 明利(延岡東)



国際奉仕の分野

1. 世界社会奉仕活動
2. 国際レベルの教育
及び文化活動
3. 特別月間と催し
4. 国際的な会合

年間活動

1. グローバル補助金の対象になるプロジェクト
を行うクラブへの支援
2. 関連する他の委員会との連携
 - (1)補助金・ポリオプラス委員会
 - (2)VTT委員会
 - (3)青少年交換委員会
 - (4)学友委員会など
3. 各クラブの国際奉仕委員会活動計画を掌握
し傾向の報告
4. 各クラブへアンケートを実施し活動の掌握

1. グローバル補助金の対象になるプロジェクトを
行うクラブへの支援

某地区での調査結果(2013-2015年度)

Q1: 昨年度からスタートした新補助金制度の地区
補助金、グローバル補助金を申請する計画はあ
りますか？

	(件数)			変化率
	2013 -2014	2014 -2015		
ある	13	16	3.6%	
考えていない	17	25	9.5%	
未定である	54	43	△13.1%	

Q2: 新補助金を使って国際奉仕活動をする
場合の問題点は？(複数回答あり)

	2013 -2014	2014 -2015	変化率 (%)
制度のハードルが高い	27.7%	23.8%	△3.9
事業内容をクラブ内で企 画検討出来ない	24.5%	34.5%	10.1
制度がよく理解出来ない	20.2%	15.5%	△4.7
わからない	8.5%	11.9%	3.4
その他	19.1%	14.3%	△4.9

2. 関連する他の委員会との連携

- (1) 補助金・ポリオプラス委員会
補助金を活用したプロジェクトに対して、R財団との連絡調整、当該ロータリーへの助言
- (2) VTT委員会
- (3) 青少年交換委員会
世界中で8,000名の学生がR交換プロジェクトを活用
- (4) 学友委員会
プログラム学友（ローターアクト、インターアクト、国際親善奨学金の元参加者など）との関係構築・維持

3. 各クラブの国際奉仕委員会活動計画を掌握し傾向の報告(クラブ活動計画書参照)



3. 各クラブの国際奉仕委員会活動計画を掌握し傾向の報告(クラブ活動計画書参照)

2014-2015年度

	鹿児島	宮崎
WCS	2	3
CLP		1
VTT	5	1
未来の夢計画	2	
海外姉妹クラブ	7	7

クラブ数 64
鹿児島県:38
宮崎県:26
(Eクラブ含まず)

- * WCS:世界社会奉仕活動
- * CLP:クラブ・リーダーシップ・プラン
- * VTT:職業研修チーム

4. 各クラブへアンケートを実施し活動の掌握

目的

2730地区全体での国際奉仕に関する情報を収集して分析し各クラブへ報告します。
それを参考されて各クラブの関連する活動の一助となることを希望します。

実施法

アンケート用紙を電子配布(回収も電子回収可)

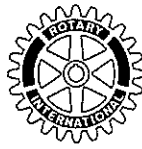
内容(案)

- * 2年連続の事業計画を分析しアンケート内容の決定
- * 関連委員会との協議

例 グローバル補助金・地区補助金
WCS・CLP・VTT・海外姉妹クラブなど



END



国際ロータリー第 2730 地区

ロータリー財団委員会

問合せ：地区事務所

TEL：0986-36-5877

FAX：0986-36-5878

E-mail：miyakonojo@ri2730.org

2015-2016 年度 グローバル補助金奨学生 募集要項

国際ロータリー第 2730 地区（鹿児島県・宮崎県）は、ロータリー財団「未来の夢計画 Future Vision Plan—FVP」として、2015-2016 年度ロータリー財団グローバル補助金奨学生を次の要領に従って募集いたします。熟読の上、有資格者は奮って応募して下さい。

目 的

国際ロータリーのロータリー財団グローバル補助金奨学生の主な目的は、ロータリー財団「未来の夢計画」の目的である、ロータリアンにより特定された世界の優先的なニーズである 6 つの重点分野、即ち、

1. 平和と紛争予防・紛争解決
2. 疾病予防と治療
3. 水と衛生
4. 母子の健康
5. 基本的教育と識字率向上
6. 経済と地域社会の発展

と取り組み、持続的かつ測定可能な成果を生むことです。

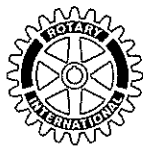
奨学金の種類

グローバル補助金奨学金：

海外地区内の大学院レベル教育機関で 1 年～最長 4 年の修学に、米貨 30,000 \$ 以上の奨学金を支給する（渡航費用・旅費を含む）。専攻課程は上記 6 つの重点分野に限ります。

応募条件

教育程度	大学卒業以上
職 歴	絶対条件ではありませんが申請する重点分野に関する職歴を有することが望ましい
留学先の条件	海外地区内の大学院レベル教育機関で、6 つの重点分野のいずれか 1 つ以上に該当する専攻課程に既に合格していること。研修生でも可
募集人数	2 名
留学開始	2015 年 7 月 1 日～2016 年 6 月 30 日までの新学期から開始できる者



応募資格

1. 上記応募条件を満たしていること
2. 優秀な学業成績を持つと共に、ロータリーの親善使節としての素質を持っていること
3. 指導力、独創力に富み、順応性、思慮分別を持ち、目的に対して誠実であること
4. 留学国の言語に習熟し、講義を理解し、講演し、報告書を作成することができること
5. 留学国の国情、国民性に関心と理解を持ち、日本の歴史、地理、文化、時事問題に通暁していること
6. 1年～最長4年間の海外留学に心身共に耐え得ること
7. 日本国籍あるいは永住権を有すること
8. 次のいずれかに該当すること
 - ① 申請時に国際ロータリー第2730地区内に居住、または本籍を有すること
 - ② 申請時に国際ロータリー第2730地区内に所在する大学、大学院に在学するか、職場に勤務していること
9. 国際ロータリー第2730地区ロータリークラブのスポンサーがあること
(2730地区ロータリー財団委員会がスポンサークラブを紹介・斡旋してもよい)
10. 海外留学先にスポンサーロータリークラブがあること
(2730地区スポンサークラブが紹介・斡旋してもよい)

応募資格のない方

次に該当する方は奨学金の申請はできません。

1. ロータリークラブ会員並びにロータリー職員、またはその実子、継子、孫、兄弟姉妹、配偶者およびその他扶養者
2. 海外留学先が、2730地区ロータリー財団委員会から財団本部へのオンライン提案時に決定していない人
3. 他地区のロータリー財団グローバル補助金等を申請している人
4. 当人または前項1. に該当する者に受験資格を与える目的のためにロータリークラブを退会した人がある場合は、そのことによって資格は生じない

グローバル補助金奨学金の条件

1. 留学期間中は勉学に励むことは勿論のこと、ロータリーの親善使節の役目を自覚し、海外地区内ロータリークラブ、家庭、事業所などを訪問して、留学国の諸事情の理解に努める
2. 奨学期間終了後速やかに必ず帰国し、2730地区内ロータリークラブに留学成果を報告する
3. 留学中は所定の報告を定時に提出すること
4. 学業不振、不良行為、報告の不提出、ロータリー財団の承諾を得ない専攻課程の変更、中途退学、親善使節としての任務不行使、その他奨学金の条件を充たせなくなるような事態が発生した場合には、奨学金は打ち切られる
5. 留学終了後は2730地区学友会に加入しなければならない。また、ロータリー主催の諸活動にも積極的に参加することが望まれる



応募方法

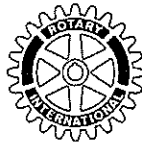
- 1) 応募は、本要綱末尾の申込書に記入の上、次のどちらかに E-mail で提出します。
国際ロータリー第 2730 地区内のいずれかのロータリークラブ
※自宅または職場のある地域か本籍地の地区のロータリークラブに提出してください。
HP の「第 2730 地区クラブ一覧」を参照してください。
- 2) 応募いただいたロータリークラブに派遣国側のホストクラブになっていただきます。直接国際ロータリー第 2730 地区ロータリー財団委員会にお申し込みの場合は、追って、お住まい、または会社のある地域か本籍地のロータリークラブをホストクラブとして奨学金・世界平和フェローシップ委員会より指定させていただきます。
- 3) グローバル補助金による奨学金申請書等の提出を受けたクラブは、応募者をグローバル補助金による奨学金授与対象者として、地区に推薦するかどうかを審査し、該当者と判定した場合は、「該当者がクラブに提出した全書類」と「グローバル補助金奨学金推薦書」を添えて 2730 地区ロータリー財団委員会に推薦し、地区財団活動資金 (DDF) からの拠出金の承認を得る。
- 4) 2730 地区財団活動資金 (DDF) からの拠出金の承認を受けたクラブは、グローバル補助金による奨学金の提唱者としてロータリー財団に対して申請手続きを開始します。

提出書類

提出いただく書類は全て A4 サイズとし、成績表、証明書などはオリジナルコピーの他に、A4 サイズに縮小又は拡大したものを添付下さい。

1、一次選考

- ①「国際ロータリー第 2730 地区 2015-2016 年度ロータリー財団グローバル補助金奨学金プログラム応募申込書」
- ②海外留学先大学院レベル教育機関の入学許可を証明するもの。
- ③語学カテストの結果
 - * 英語圏：TOEFL、IELTS 等の成績表
Test of English as a Foreign Language
International English Language Testing System
 - * 英語圏以外：該当する外国語能力評価の標準となっている語学カテストの成績表(注) 成績表は取得後 1 年以内のものであることが望ましい
- ④小論文 (題自由、日本語 800 字程度、A4 サイズで横書き、文字の大きさは 10.5)



2、最終選考

- ①一次選考合格者へ「未来の夢計画—グローバル補助金奨学生の参加申請書」をお渡します。熟読し、漏れなく記入のうえ提出して下さい
- ②指導教育者、職場の上司等の推薦状
- ③最終教育機関の成績証明書（日本語及び英語又は海外留学先言語）
- ④提出書類を基に面接を行います

本申請手続

- ①最終選考合格者は地区推薦決定者として、グローバル補助金申請者となります
- ②申請者について、2730 地区及び海外地区スポンサークラブの確認又は決定手続きをいたします
- ③国際ロータリーのロータリー財団本部（Evanston, Illinois, USA）へ、グローバル補助金奨学金の申請手続きを開始します。
- ④申請者と財団本部との質疑応答や不足資料の提出を行います（英文による WEB 申請）
- ⑤全ての手続き終了次第、2730 地区及び海外留学先地区のガバナー他関係役員の承認（WEB 承認）
- ⑥財団本部から最終の申請承認
- ⑦留学費用の送金

* 本申請から最終承認まで 4 カ月以上必要と思われるので、早めの手続きが必要です。

その他

- ①承認が下りる前に支払った費用については、奨学金の対照になりません。
- ②希望する大学院への入学許可が得られ、受入地区のホストクラブが決まっている
この2つがクリアしないと、ロータリー財団本部への奨学金の最終申請はできません



国際ロータリー第 2730 地区 2015-2016 年度

ロータリー財団グローバル補助金奨学金プログラム応募申込書

私は、下記書類の内容を確認しましたので本奨学金プログラムに応募します。

2015-2016 年度 (2015 年 7 月—2016 年 6 月入学) 国際ロータリー第 2730 地区

ロータリー財団 グローバル補助金奨学生 募集要項

=下記に記入の上、クラブ事務局宛に郵送提出下さい=

- ・氏名 : 性別 : 生年月日 :
- ・住所 :
- ・本籍 :
- ・電話番号 (自宅) :
- ・電話番号 (携帯) :
- ・E メールアドレス :
- ・国籍 :
- ・語学能力 : (言語 レベル)
(言語 レベル)
(言語 レベル)
- ・学歴 (最新のもの 2 つ) :
○
○
- ・現在の専攻課程 :
- ・留学希望校・機関名 :
- ・所在地 :
- ・教育機関のウェブサイト :
- ・入学開始日 (予定) ~ 終了 (予定) :
- ・専攻希望 (6 つの重点分野のどれに該当しますか) : ()
①平和と紛争防止・解決 ②疾病予防と治療 ③水と衛生設備
④母子の健康 ⑤基本的教育と識字率向上 ⑥経済と地域社会の発展
- ・留学希望校・機関の入学許可証はいつ頃までに発行されますか :

＜註＞応募申込書提出に当たり、最寄りのロータリークラブ 若しくはロータリアンの方へ、よく相談されることを推奨いたします。